

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立内代小	学校	児童数	43
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.70	23.88	32.77	41.68	45.96	9.26	158.28	23.26	56.95
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.92	20.55	33.45	35.00	31.36	9.89	136.67	13.82	51.55
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.82	53.97

結果の概要

本校の5年生は、男子の人数が多く女子が少ない。また、2クラスとはいえ、学年全体で44名と児童数は多くない。人数が少ない分、一人一人の答えが全体の結果に大きく影響する。男子の結果では、6種目で記録は全国平均値を上回っている。中でも握力と上体起こしは全国を大きく上回っている。しかし、長座体前屈と20mシャトルランについては全国平均に届かなかった。女子も握力と上体起こし、ソフトボール投げの記録は全国平均値を上回っているが、その他の種目では平均値に届かなかった。質問紙の結果から、男女とも毎日の運動時間が60分を下回る児童はいない。ただし、男子の平均運動時間が約107分、女子の平均運動時間が約71分と男女間で1日平均30分以上の差がある。それが全体にも影響しており、体力合計点を見ると男子の得点が全体を引き上げていることがわかる。「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に対しては、男女とも肯定的な回答が70%を超えており、男女とも肯定的な回答が70%を超えている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

【これまでの成果】

- ・学校全体の取り組みとして、かけあし週間や、縄跳び週間を設定し、全校児童の体力向上に努めてきた。
- ・運動場での遊びの制限を減らし、どの時間でもボールを投げたり蹴ったりできるようにした。
- ・出前授業を通じて、運動のすばらしさや楽しさを体験できる取り組みを行ってきた。また、区の体育指導で本校の児童の課題に沿った指導を重点的にしていただくことで、バランスの良い体づくりができた。
- ・特定の種目ではあるが、大阪市内で行われているスポーツの交歓会に参加し、それに向けての練習時間を作った。

【今後の課題】

- ・運動の楽しさを感じられ、さらに体を動かすきっかけを与えられるような取組や働きかけを子どもたちや教職員と検討する。